

第 53 回全国消防救助技術大会における熱中症対策について

～熱中症ゼロの大会を目指して～

令和 7 年 6 月 1 日、労働安全衛生規則が改正され、職場における熱中症対策の強化が義務付けられました。これに伴い、本大会では、熱中症の予防および重篤化を防ぐため、「熱中症（疑い）が発生した場合の対応要領」を作成しました。また、下記の取り組みを通じて、安全・安心のある大会運営を進めてまいります。

【ご来場のみなさんに やさしい取り組み】

○いつでも水分補給

- ・ マイボトルに水を無料で給水できるウォータークーラー 6 台をクールスポットに設置。
- ・ 飲料水の販売
サントリー株式会社（2,700 本）・キッチンカー 10 台・自動販売機 3 機

○クールスポットで涼しく観覧

- ・ 消防学校内にクールスポットを 2 カ所設定（300 名収容可能）し、講堂の大型ビジョンを見ながら、冷房のきいた涼しい屋内で熱い声援が送れます。

○“涼”を感じる空間演出

- ・ 会場警備スタッフがジェットシューター（林野火災現場で活用されている背負い式消火装置）による打ち水による涼を提供しながら、会場を巡回します。
- ・ 水を使った防災イベント（消防車による自己噴霧放水）で、学びながら熱中症を予防します。

【選手やスタッフに やさしい取り組み】

○選手ファーストの大会運営

- ・ 式典の簡略化で開催時間を約 30 分短縮。

○いつでも水分補給ができる体制

- ・ 選手にポカリスエットアイススラリー（大塚製薬株式会社ご提供）を配布。
- ・ 訓練前の隊員招集場所への飲料持参を可能に。
- ・ スタッフに保冷ペットボトルホルダー配布し、いつでも飲料が飲める体制を整備。

○新たな熱中症対策資器材の導入による安全な環境を整備

- ・ 熱くなった選手の身体を冷却する水循環シャワー（WOTA 株式会社ご提供）の体験。
- ・ -79°C の冷却効果が 3 時間継続するドライアイスを用いた冷却ジャケット（ENEOS アメニティ株式会社ご提供）を、屋外のスタッフに提供。酷暑下でも安全・快適な環境を提供。